

小学校国語B (主として「活用」に関する問題)

平成29年度
全国学力・学習状況調査

問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力について調べる問題です。話し合いや協力依頼文づくりなどの身近な場面をとおして、まとめる、比べる、自分の考えを持つ、表現するなどの問題が出題されています。

全体の正答率

* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して
1.2ポイント下回っています

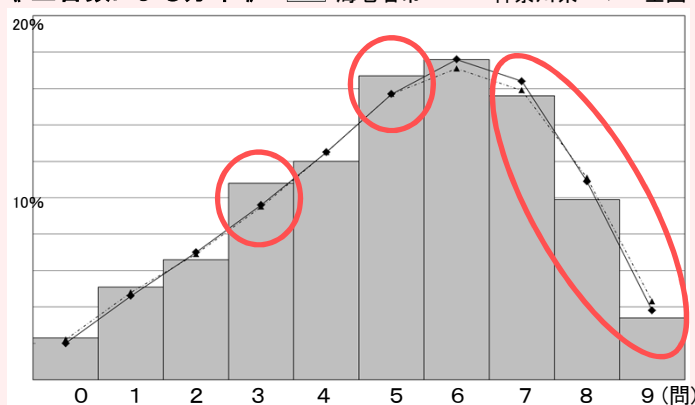
《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語B	56.3	57.0	57.5	-1.2

誤答の様子は…

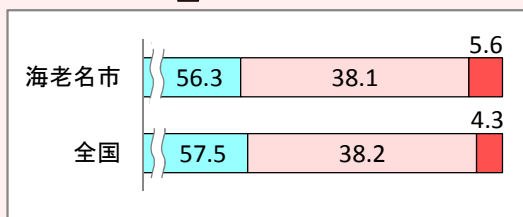
分布の様子は…

《正答数による分布》



《誤答の内訳(%)》

■ 正答 □ 誤答(書いたが不正解だった)
■ 無解答(何も書かなかった)



無解答率(何も書かなかった)は5.6%でした。

全国と比較すると
正答数が3問、5問の児童が多く
7問以上の児童が少ない
ことがわかります

- * 正答率50%以下(0~4問)の児童の割合は36.7%でした。(全国は35.6%)
- * 正答率80%以上(8~9問)の児童の割合は13.2%でした。(全国は14.6%)

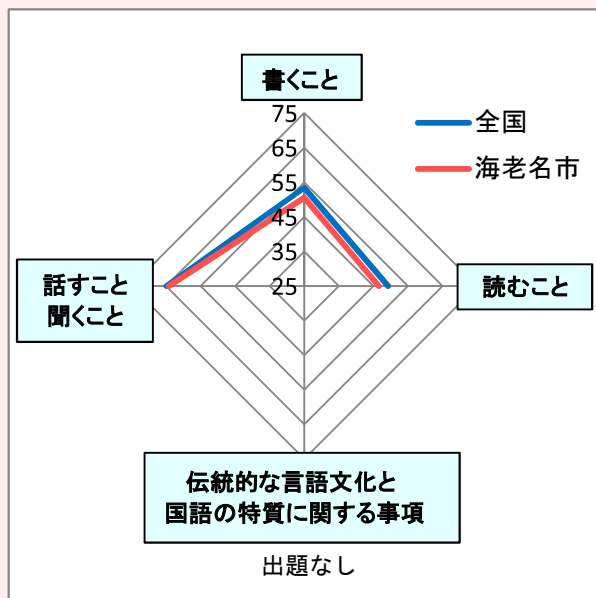
領域別の正答率

3領域において全国と比較して
やや下回っています

《平均正答率(%)》

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	64.2	64.9	-0.7
書くこと	50.5	53.4	-2.9
読むこと	46.6	49.2	-2.6
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	この領域は今年度出題なし		

- * 「書くこと」「読むこと」については、2.5ポイント以上、下回っていました。
- * 特に「書くこと」については、2.9ポイント下回っていました。



内容について

* ()内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った設問

- スピーチ練習の話合いの文を読んで、メモを使う良さを40字以内で書く。(+3.1)
- 物語についての話合いの文を読んで、発言の意図を選ぶ。(+2.1)
- 協力者を募る文章について、工夫した点を選ぶ。(+1.5)

全国を下回った設問

- 折り紙の魅力について、条件にあわせて80字以上100字以内で書く。(-6.9)
- 物語の中から理由を探し、条件にあわせて60字以上100字以内で書く。(-6.9)
- 協力者を募る文章を、条件にあわせて30字以上60字以内で書く。(-3.4)

国語Bで平均正答率が全国を下回った設問の例

目的に応じて、自分の考えをまとめる設問 (全国との比較-6.9)


【スピーチの練習の様子】(動画で記録したもの)



折り紙のみりょくは、色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることだと、私は思います。

【グループの話合いの様子】

- 上野 それなら、折り紙のみりょくをもっとたくさん伝えた方がいいんじゃないかな。
 北川 折り紙のみりょくは、どこでも手軽にできることだと思うよ。
 上野 ぼくは、紙一枚から立体的な形ができるということがみりょくだと思うな。
 北川 「手裏剣」のように、組み合わせて形をつなげられることもみりょくだよね。

石田さんは、友達の助言を受け、【スピーチの練習の様子】の中の「」について、もう一度考えています。石田さんは、どのように話すとよいですか。その内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

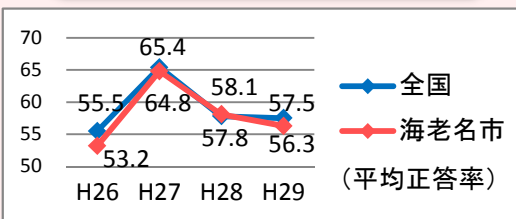
- 〈条件〉 ○ 折り紙のみりょくについて、【スピーチメモ】と【グループの話合いの様子】で出された意見から、それぞれ取り上げて書くこと。
 ○ スピーチとしてふさわしい言葉づかいにすること。
 ○ 書き出しの言葉に続けて、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。 正答は省略

☆国語Bのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

考察

- ◆ 全国と比べて、正答数が3問、5問の児童が多く、7問以上の児童が少ないことから、基礎的な力の確実な定着が求められる。
- ◆ 記述式の問題の正答率が特に低いことから、目的や条件に合わせて自分の考えをまとめることに課題が見られる。
- ◆ ほとんどの設問について無解答率が全国と比べて高く、後半の設問ほどその差が大きくなっていることから、粘り強く問題に取り組む力を身につける必要がある。

これまでとの比較



- ◆ 平成26年度から徐々に全国との差が縮まり、平成28年度は上回ったが平成29年度は下回っている。
- ◆ 「話すこと・聞くこと」については、これまで出題があれば全国を上回っていたが、平成29年度はそれを含めすべての領域で全国を下回っている。

指導の改善にむけて

- ◆ 「書くこと」の力を高めるために
 - 日頃の授業の中で、目的や定められた字数などの条件にあわせて文章を書くことを継続的に指導する。
- ◆ 「読むこと」の力を高めるために
 - 目的にあわせて根拠を明確にして読み取り、自分の考えをまとめることを指導する。